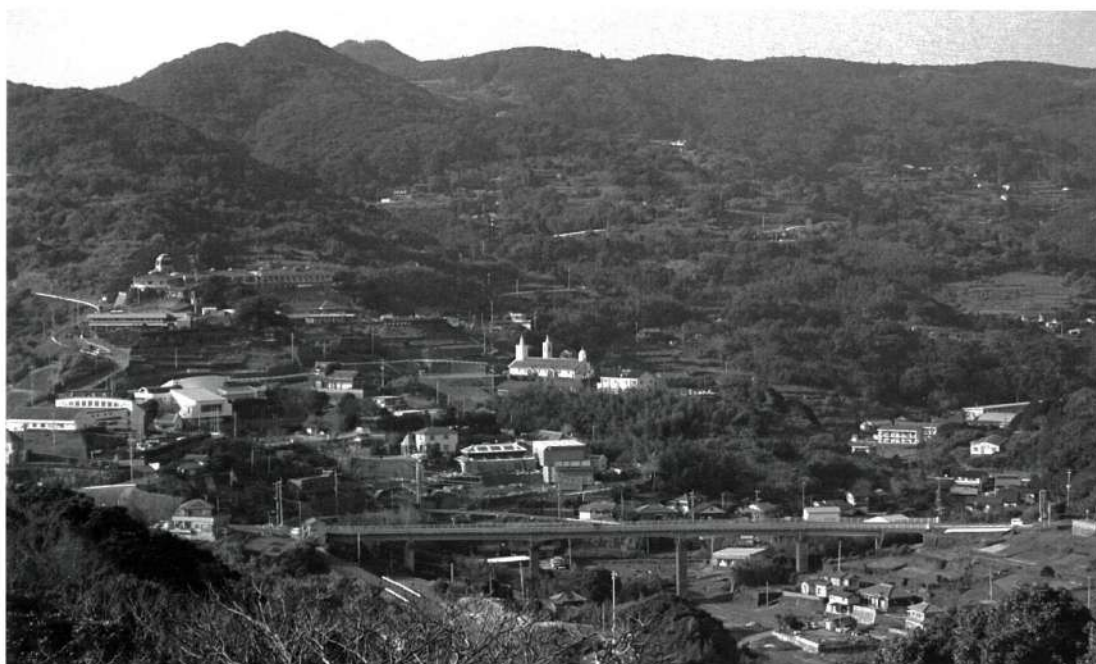


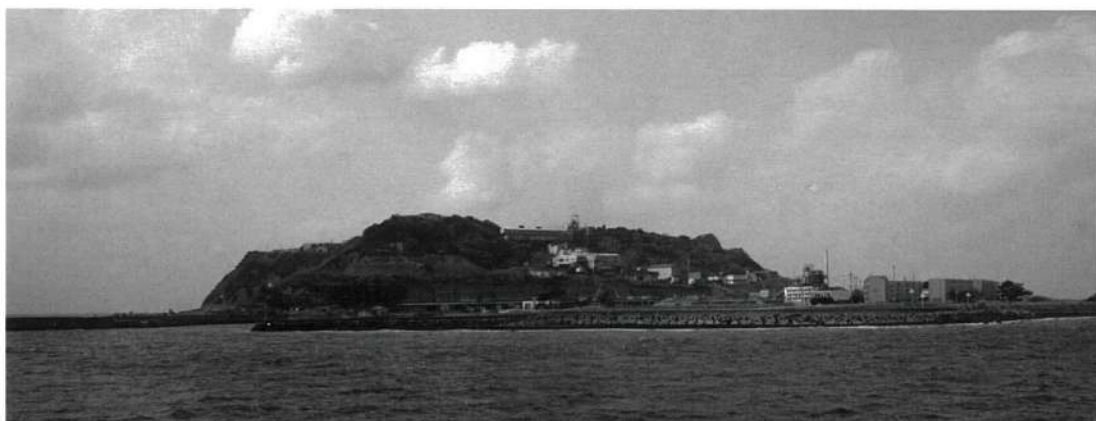
2025年度一般社団法人日本民俗建築学会第30回シンポジウム

地域の文化と産業に結びついた建築の風景

—長崎市外海地区の教会施設と炭住団地—



外海の出津集落（世界遺産）の遠景（長崎市）



九州最後の廃炭島 池島（長崎市外海町）

一般社団法人日本民俗建築学会

後援：長崎市教育委員会

地域の文化と産業に結びついた建築の風景 —長崎市外海地区の教会施設と炭住団地—

主催：一般社団法人日本民俗建築学会

日時：2025年10月18日（土）13時30分～16時30分

会場：長崎市民生活プラザホール（長崎市築町3-18）

プログラム・目次

13時30分 開会

会長挨拶：角 幸博（一般社団法人日本民俗建築学会会長）

シンポジウム趣旨：米村敦子（実行委員長）…………… 2

総合司会：山永喜久子（実行委員）

1. パネリスト報告

・パネリスト報告1：教会施設と共に生きる人々…………… 3

土田充義（鹿児島大学名誉教授）

・パネリスト報告2：外海の教会堂と大工・川原家…………… 8

山田由香里（長崎総合科学大学工学部教授）

・パネリスト報告3：長崎炭島炭の炭住団地の移り変わりと現在…………… 12

米村敦子（宮崎大学名誉教授）

2. パネルディスカッション：土田充義、山田由香里、米村敦子

16時30分 閉会

2025年度一般社団法人日本民俗建築学会第30回シンポジウム
地域の文化と産業に結びついた建築の風景
—長崎市外海地区の教会施設と炭住団地—

発行：2025年10月18日

実行委員：米村敦子（委員長）・土田充義・山永喜久子

一般社団法人日本民俗建築学会
〒162-0834 東京都新宿区北町18
